

令和6年度学力調査結果について

(全国学力・学習状況調査 概要)

令和6年8月

益田市教育委員会

益田市全体の結果概要

I 全国学力・学習状況調査について

1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

令和6年4月18日（木）

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語、算数・数学は、それぞれ次の①と②を一体的に出題

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

(3) 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 実施学校数・学年・教科等・人数

実施学年 学校数	教科に関する調査		意識調査（人）
	国語（人）	算数・数学（人）	
小学6年生 15校	356人	358人	361人
中学3年生 9校	374人	371人	356人

II 用語

- 「正答率」 …各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を全国又は島根県、益田市単位で平均した値
- 「領域」 …各教科の学習内容を系統的に示したもの。例えば、算数では「数と計算」「図形」等
- 「無解答率」 …教科の各設問において、無解答であった児童生徒の割合(%)

III 公表について

1 公表の内容

教科に関する調査及び生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査について、益田市全体の結果

2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。
したがって、数値の細かな差のみに着目するのではなく、全体の傾向を大きく捉えたり、無解答率や誤答等も含めて、成果と課題を丁寧に捉えたりすることが必要である。

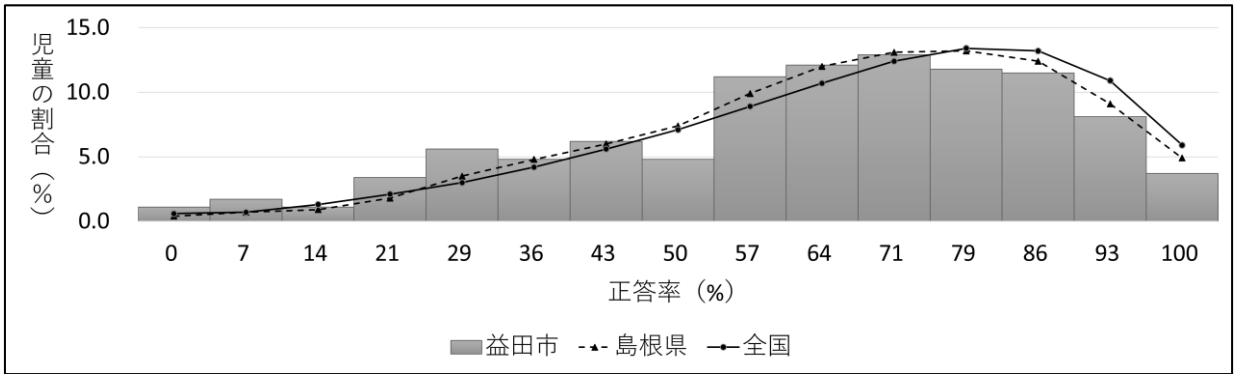
IV 教科に関する調査の結果

1 結果の概要

- ・各教科平均正答率について、小6の国語は全国平均を5ポイント、県平均を4ポイント、算数は全国平均を6ポイント、県平均を4ポイント下回った。中3の国語は全国平均を4ポイント、県平均を3ポイント、数学は全国平均を5ポイント、県平均を1ポイント、下回った。
- ・小6国語は、全ての内容・領域で全国平均を下回り、「話すこと・聞くこと」を除き県平均を下回った。
- ・小6算数は、全ての領域で全国平均、県平均を下回った。
- ・中3国語は、全ての内容・領域で全国平均、県平均を下回った。
- ・中3数学は、全ての領域で全国平均を下回り、「データの活用」を除き県平均を下回った。

2 各教科の正答数分布状況と解答状況から特に課題の見られた設問

【小学校6年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

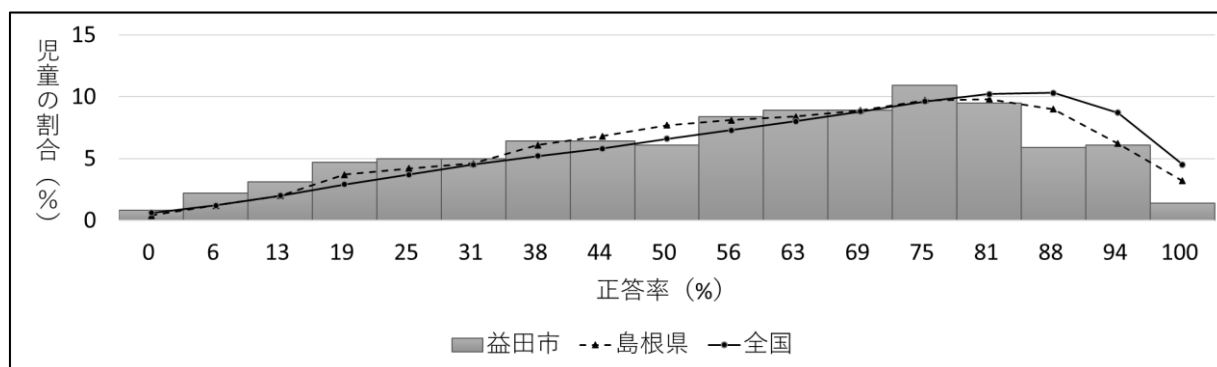


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		63	68	▽	67	▽
内容	言葉の特徴や使い方に関する事項	60	64	▽	64	▽
	情報の扱い方に関する事項	79	87	▽	86	▽
	我が国の言語文化に関する事項	70	75	▽	75	▽
	話すこと・聞くこと	58	60		57	
	書くこと	63	68	▽	68	▽
	読むこと	65	71	▽	69	▽

- ・市平均正答率は63%であり、全国よりも5ポイント下回っている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」において、全国平均を8ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・オンラインで交流する場面について、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する。(－5ポイント) ・【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する。(－8ポイント) ・【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。(－9ポイント) ・【高山さんの文章】の下線部アを漢字を使って書き直す(きょうぎ)。(－6ポイント) ・【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に注目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する(－8ポイント) ・【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。(－6ポイント) ・【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する。(－5ポイント)	・【高山さんの文章】の下線部アを漢字を使って書き直す(きょうぎ)。(16% 差－3ポイント) ・【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。(17% 差－4ポイント)

【小学校6年生 算数】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

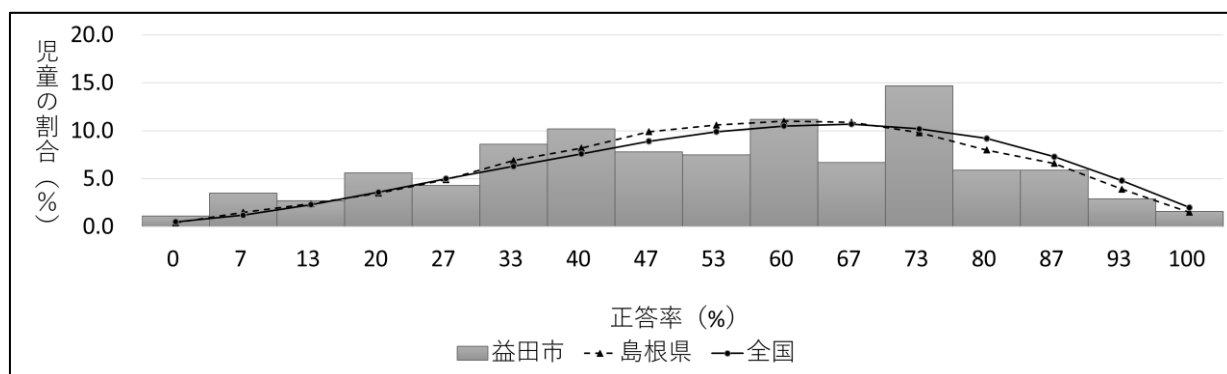


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		57	63	▽	61	▽
領域	数と計算	59	66	▽	64	▽
	図形	62	66	▽	65	▽
	変化と関係	41	52	▽	46	▽
	データの活用	56	62	▽	60	▽

- ・市平均正答率は、57%であり、全国よりも6ポイント下回っている。
- ・「数と計算」は7ポイント、「図形」は4ポイント、「変化と関係」は11ポイント、「データの活用」は6ポイント全国よりも下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。(－5ポイント) ・除数が1/10になった時の商の大きさについて、正しいものを選ぶ。(－9ポイント) ・直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。(－7ポイント) ・五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。(－5ポイント) ・$540 \div 0.6$を計算する。(－12ポイント) ・3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。(－8ポイント) ・家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。(－9ポイント) ・家から図書館までの自転車の速さが分速何メートルかを書く。(－14ポイント) ・円グラフから2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く。(－7ポイント) ・示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。(－11ポイント)	・折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。(15% 差－2ポイント)

【中学校3年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

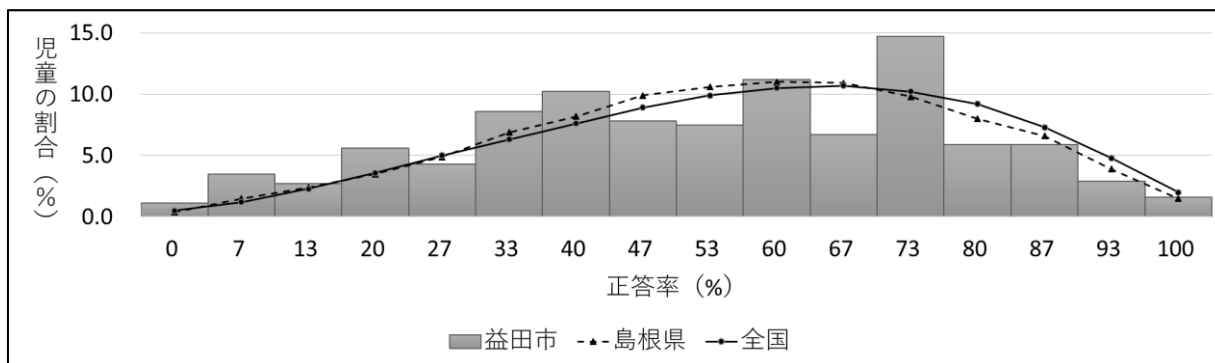


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		54	58	▽	57	▽
内容	言葉の特徴や使い方に関する事項	54	59	▽	57	▽
	情報の扱い方に関する事項	57	60	▽	59	
	我が国の言語文化に関する事項	75	76		79	▽
	話すこと・聞くこと	53	59	▽	56	▽
	書くこと	59	65	▽	63	▽
	読むこと	44	48	▽	46	

- ・市平均正答率は54%であり、全国よりも4ポイント下回っている。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する設問の正答率が、全国平均を6ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。(－7ポイント) ・話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む。(－9ポイント) ・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する。(－9ポイント) ・物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する。(－7ポイント) ・漢字を書く(みちたりた)。(－6ポイント) ・表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。(－9ポイント)	・話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く。(15% 差－5ポイント) ・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する。(12% 差－4ポイント) ・漢字を書く(みちたりた)。(11% 差－1ポイント) ・表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。(16% 差－1ポイント)

【中学校3年生 数学】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▼：市が3ポイント以上下回るもの



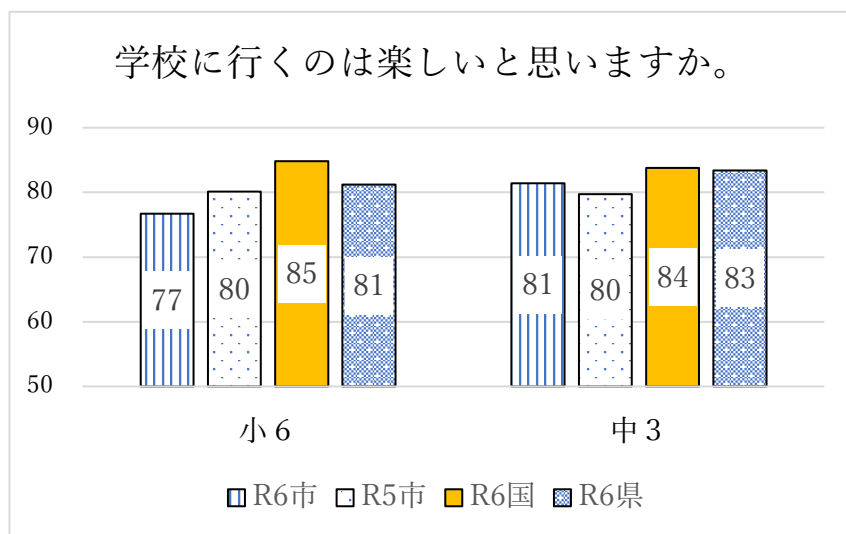
		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県	
教科総合		48	53	▽	－5	49	－1
領域	数と式	43	51	▽	－8	45	－2
	図形	34	40	▽	－6	38	▽ －4
	関数	57	61	▽	－4	58	－1
	データの活用	54	56		－2	53	1

- ・市平均正答率は、48％であり、全国よりも5ポイント下回っている。
- ・「数と式」は8ポイント、「図形」は6ポイント、「関数」は4ポイント全国よりも下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
・nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す。(17ポイント) ・等式$6x+2y=1$をyについて解く。(10ポイント) ・正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ。(7ポイント) ・一次関数$y=ax+b$について、$a=1$、$b=1$のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ。(5ポイント) ・正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成させる。(10ポイント) ・車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ。(8ポイント) ・18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおおよそ何時間になるかを求める方法を式やグラフを用いて説明する。(5ポイント) ・点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、$AQ=PB$であることを、正三角形の合同を基に証明する。(9ポイント) ・点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、$\angle AQC$と$\angle BPC$の大きさについて言えることの説明として正しいものを選ぶ。(5ポイント)	・nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す。(24% 差10ポイント) ・正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成させる。(28% 差5ポイント) ・正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する。(32% 差2ポイント) ・車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する。(32% 差2ポイント) ・18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおおよそ何時間になるかを求める方法を式やグラフを用いて説明する。(20% 差4ポイント) ・点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、$AQ=PB$であることを、正三角形の合同を基に証明する。(39% 差6ポイント)

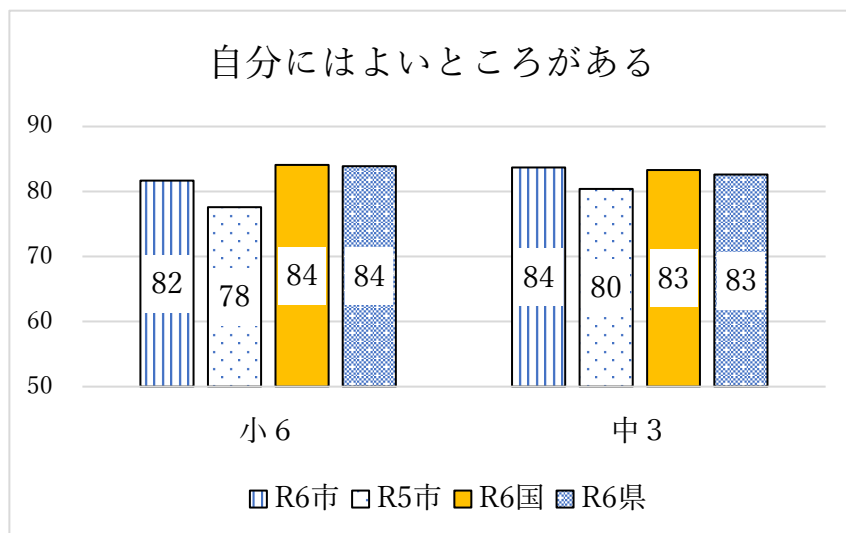
V 児童生徒質問紙（生活・学習に関する意識調査）及び学校質問紙調査の結果

（1）学校が楽しい



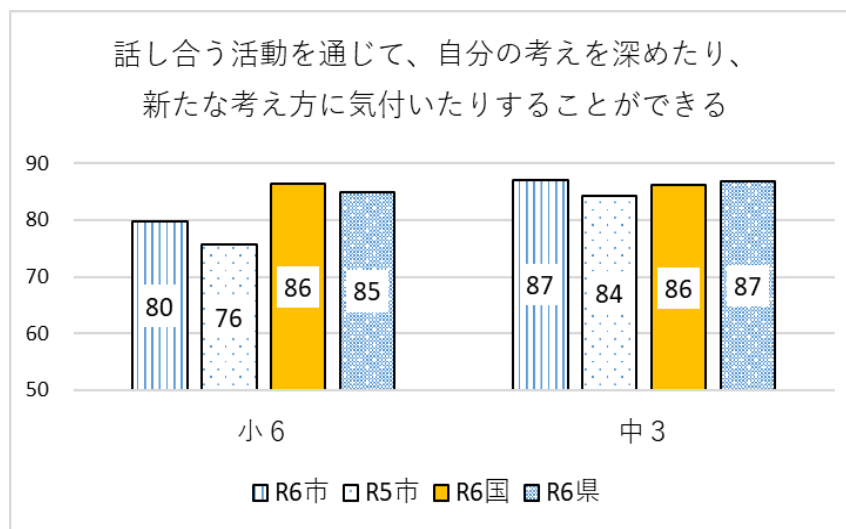
- ・小6については、全国平均よりも8ポイント低く、県平均よりも4ポイント低かった。令和5年度よりも3ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも3ポイント低く、県平均よりも2ポイント低かった。令和5年度よりも1ポイント高かった。

（2）自分にはよいところがある



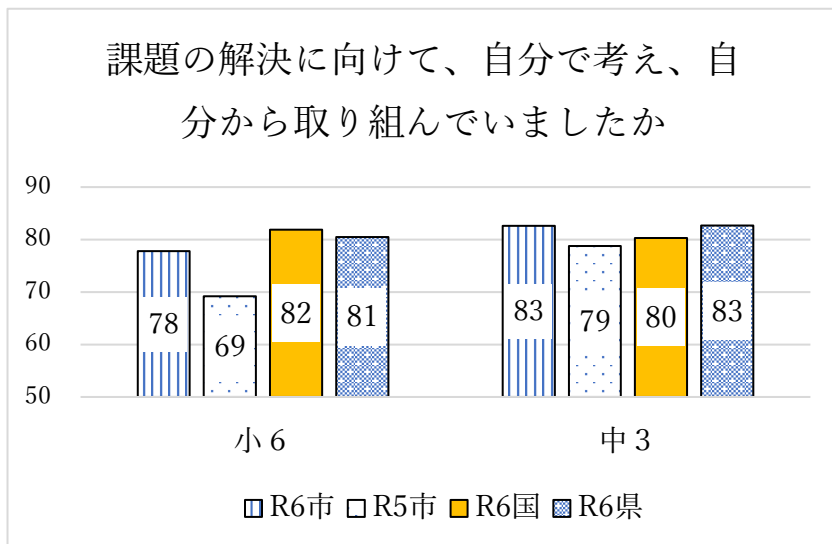
- ・小6については、全国平均、県平均よりも2ポイント低かった。令和5年度よりも4ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均、県平均よりも1ポイント高かった。令和5年度よりも4ポイント高かった。

（3）話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる



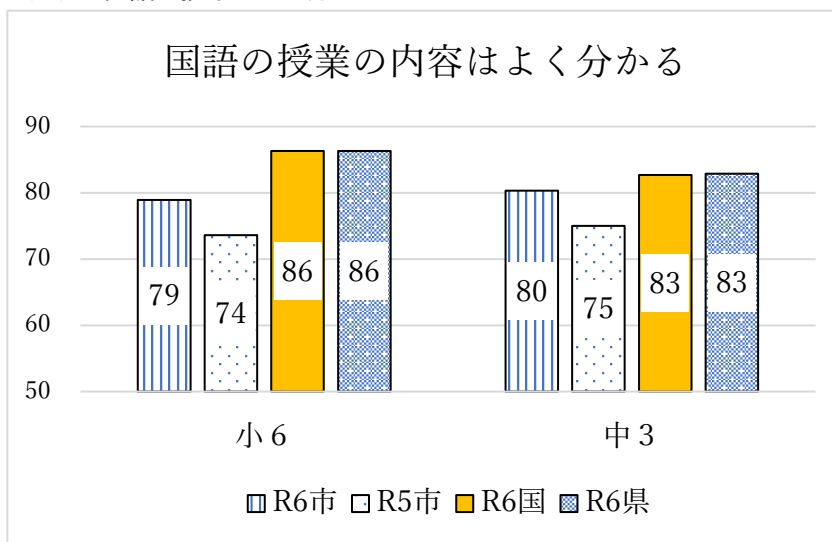
- ・小6については、全国平均よりも6ポイント低く、県平均よりも5ポイント低かった。令和5年度よりも4ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも1ポイント高く、県平均と同水準であった。令和5年度よりも3ポイント高かった。

(4) 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



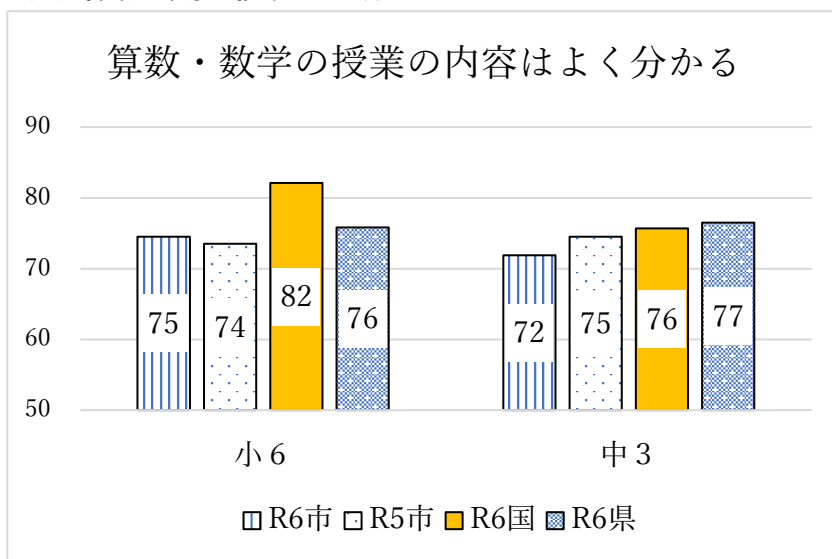
- ・小6については、全国平均よりも4ポイント低く、県平均よりも3ポイント低かった。令和5年度よりも9ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも3ポイント高く、県平均と同水準であった。令和5年度よりも4ポイント高かった。

(5) 国語の授業はよく分かる



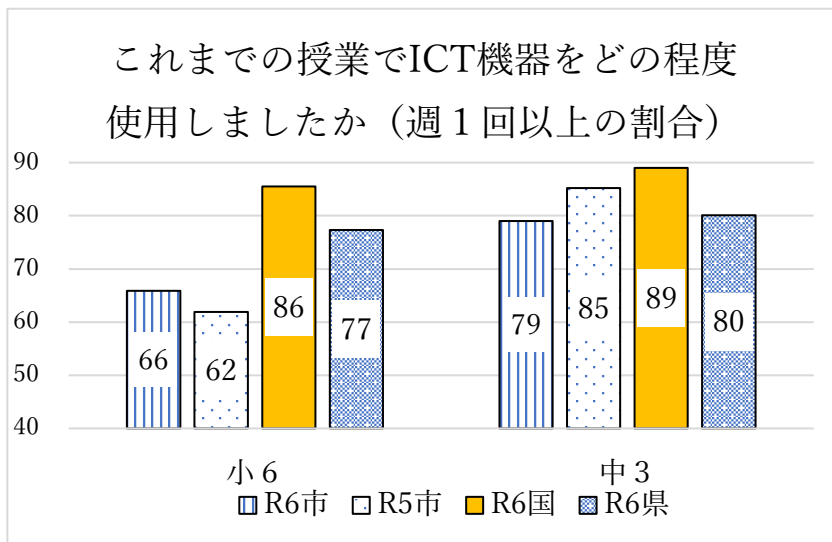
- ・小6については、全国平均、県平均よりも7ポイント低かった。令和5年度よりも5ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均、県平均よりも3ポイント低かった。令和5年度よりも5ポイント高かった。

(6) 算数・数学の授業はよく分かる



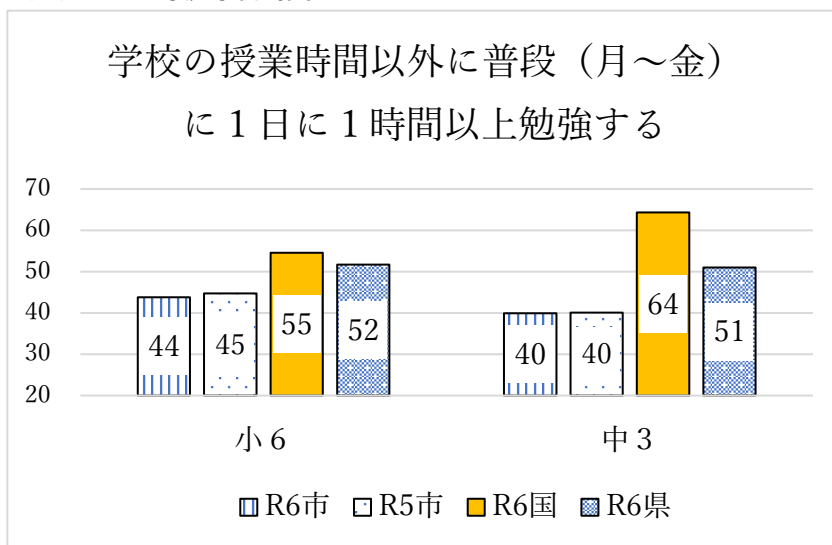
- ・小6については、全国平均よりも7ポイント低く、県平均よりも1ポイント低かった。令和5年度よりも1ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも4ポイント低く、県平均よりも5ポイント低かった。令和5年度よりも3ポイント低かった。

(7) ICT の活用の充実



- ・小6については、全国平均よりも20ポイント低く、県平均より11ポイント低かった。令和5年度よりも4ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも10ポイント低く、県平均より1ポイント低かった。令和5年度より6ポイント低かった。

(8) 平日の家庭学習時間



- ・小6については、全国平均よりも11ポイント低く、県平均より8ポイント低かった。令和5年度よりも1ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも24ポイント低く、県平均よりも11ポイント低かった。令和5年度と同水準であった。